



第63期 中間報告書 (第2四半期)

2009.3.1 ▶ 2009.8.31

株式会社 オンワードホールディングス

証券コード NO.8016



代表取締役会長
廣内 武



代表取締役社長
水野 健太郎

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より格別のご支援をいただき、感謝いたしますとともに、第63期第2四半期連結累計期間（2009年3月1日から2009年8月31日まで）の事業の概況等を、ここにご報告申し上げます。

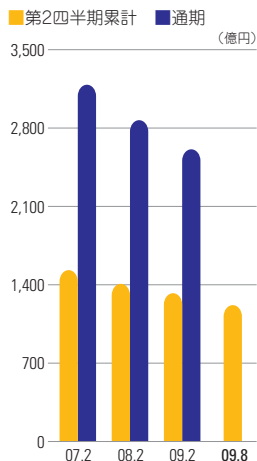
当社グループは、「人々の生活に潤いと彩りを与えるおしゃれの世界」を事業領域に定め、「ファッション」を生活文化として提案することによって新しい価値やライフスタイルを創造し、人々の豊かな生活づくりへ貢献することを経営理念としております。

また、当社グループは、ブランドを基軸とした経営による「ブランド価値の創造」をさらに推進し、消費者が価値を認める「価値価格」の実現をはかり、企業価値・株主価値の向上をめざしてまいります。

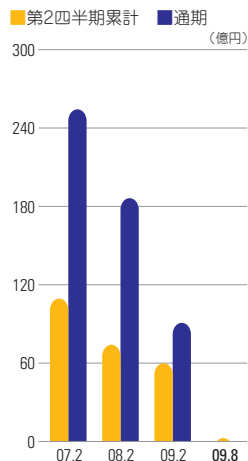
株主の皆様には、今後とも変わらぬご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

財務ハイライト

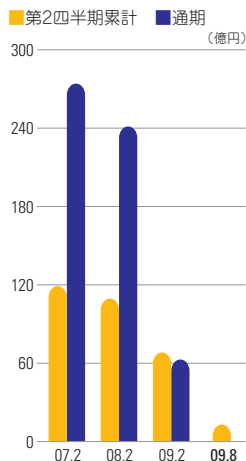
連結売上高



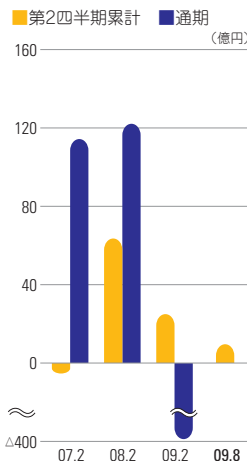
連結営業利益



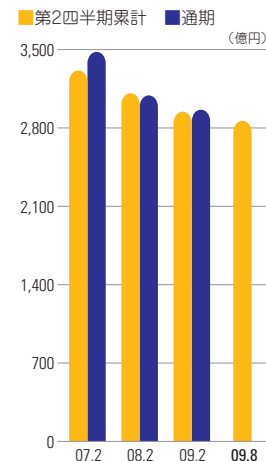
連結経常利益



連結四半期(当期)純利益



連結総資産



(百万円)

	2007.2	2008.2	2009.2	2009.8 (第2四半期累計)
連結売上高	318,690	287,032	261,005	121,821
連結営業利益	25,431	18,628	9,084	263
連結経常利益	27,407	24,128	6,285	1,305
連結四半期(当期)純利益(△純損失)	11,438	12,213	△30,895	960
連結総資産	347,936	309,092	296,282	286,364
連結純資産	225,138	197,639	158,418	161,043
連結1株当たり四半期(当期)純利益(△純損失)(円)	70.52	76.53	△197.21	6.13

事業環境と業績全般について

当第2四半期連結累計期間（2009年3月1日から2009年8月31日まで）におけるわが国経済は、金融市場の混乱は落ち着き始めたものの、实体经济の低迷は続き、雇用や所得環境の深刻化などにより個人消費がさらに減速し、景気は低調に推移いたしました。

当アパレル業界につきましては、生活防衛意識の高まりによる低価格志向や消費動向の変化がさらに進むなど、厳しい状況が続きました。

このような経営環境のなか、当社グループは、経営の効率化をさらに進め、厳しい環境下においても、攻めと守りを明確にしながら事業運営を進めてまいりました。

国内事業の概況につきましては、株式会社オンワード樫山において、市況が低迷するなか、売上高の減少による影響を軽減するため、生産管理、経費管理を徹底し効率運営に努めてまいりました。さらに、非効率なブランド・店舗を廃止しながら、基幹ブランドにおいては、最適なショップ



「23区」

環境への移設拡大を引き続き進めてまいりました。しかしながら、売上高の減少が大きく、営業利益は前年を下回る結果となりました。その他の国内子会社は、概ね計画通りに推移し、売上高は減少したものの増益基調となりました。

海外事業の概況につきましては、世界的な経済不況の影響を大きく受けているラグジュアリーブランドの構成比が高い欧州地区の子会社が、大幅な減益となりました。

第63期 第2四半期連結累計期間業績実績

売上高	1,218億 21百万円	（前年同期比 8.0%減）
営業利益	2億 63百万円	（前年同期比 95.6%減）
経常利益	13億 5百万円	（前年同期比 80.9%減）
四半期純利益	9億 60百万円	（前年同期比 61.5%減）

事業セグメント別の概況

■アパレル関連事業

国内事業につきましては、株式会社オンワード樫山において、経営効率の改善をはかるため、ブランドと売り場の見直しをさらに進めてまいりました。結果として厳しい市況のなか、売上高は前年を大きく下回りましたが、生産管理の徹底により在庫評価損の圧縮と、最大の基幹ブランド「23区」の回復基調などで、粗利益率の改善がはかれました。他の国内アパレル関連子会社も売上高は減少したものの、効率経営に努め全体として増益となりました。

海外事業につきましては、欧州地区において、ジボ・コー、ジョゼフ、ジルサンダー各グループの売上高が、マーケットの回復が遅れていることから計画を大きく下回りました。欧州地区の各子会社は、グローバル戦略の要であり、さらにブランド価値を高めながら、経営効率と売上

拡大を進め収益性を改善してまいります。アジア地区においては、経済成長が鈍化した影響もあり、状況に対応した運営を行ったことから、一時的に成長率は弱まりました。

■アパレル関連事業

売上高	1,145億 24百万円 (前年同期比 7.7%減)
営業利益	63百万円 (前年同期比 99.0%減)

■その他の事業

サービス関連事業につきましては、ファッション物流事業のアクロストラנסポート株式会社、商業施設の設計・施工事業の株式会社オンワードクリエイティブセンターの両社は、取引物件、受託数が減少しましたが、計画通りの収益を上げることができました。



「チャコット」



「ジョゼフ」 オールドボンドストリート店

リゾート関連事業につきましては、新型インフルエンザの影響からグアムへの旅行者が大幅に減少したことで、売上高は減少しましたが、経営効率の徹底化で収益改善がはかれました。

■その他の事業

売上高	105億 10百万円 (前年同期比 12.8%減)
営業利益	80百万円 (前年同期比 26.6%減)

通期の見通し

第63期(2010年2月期)連結業績予想

売上高	2,476億円 (前期比 5.1%減)
営業利益	37億円 (前期比 59.3%減)
経常利益	52億円 (前期比 17.3%減)
当期純利益	20億円 (前期は308億95百万円の当期純損失)

「スタイリッシュアップパンツキャンペーン」を開催

株式会社オンワード樫山は、「モード」「クオリティ」「バリューブライス」を商品開発のキーワードとし、新鮮で魅力がありお客様を感動させるモノ創りをめざしております。

その一環として、9月に独自の縫製技術やノウハウを活用した、美しいレッグラインが実現するパンツをメンズ・レディース17ブランドで紹介する「スタイリッシュアップパンツキャンペーン」を全国有名百貨店32店舗で展開し、好調に推移いたしました。11月には軽くて機能的なアウターをブランド横断で提案する「軽量ダウンキャンペーン」を実施いたします。



「スタイリッシュアップパンツキャンペーン」

ペットファッションセレクトショップ「白金台Hannari」オープン



「白金台Hannari」

株式会社クリエイティブヨーコは、ペットファッションセレクトショップ Hannari（はんなり）を東京都港区白金台のプラチナ通りに2009年9月18日にオープンいたしました。ショップ名は「白金台 Hannari」で、米・ニューヨークの「ルーズベルトフィールドモール Hannari」を含めて4店目となり、初の路面店になります。

株式会社オンワード樫山の「フルキャラットユニゾン」で取り扱っている人気雑貨ブランド「mimo（ミモ）」のペット向け新商品も導入するなど、グループのノウハウを活用し、同業態の旗艦店として運営されます。

1階には安全・安心なペットフードが無料で試食できるフリーフードバーコーナーを設置し、2階にはアドホック株式会社が展開するペットホテル・ケアサービスの「PET-SPA（ペット・スパ）」を併設するなど顧客サービスの充実をはかっております。

CSRへの取り組み

当社グループは生活文化企業として人々の豊かな生活づくりに貢献するとともに、「地球環境の保全」を経営の重要な課題として捉え、人と環境に優しい企業をめざしております。これまでも水洗い可能なエコロジー商品などの開発、環境マネジメントシステムISO14001の認証取得など、環境保全に積極的に取り組んでおります。その活動内容の一部である「オンワード・グリーン・キャンペーン」をご紹介します。

「オンワード・グリーン・キャンペーン」を今秋より本格展開

株式会社オンワード樫山は、経営の重点施策の一つとして「環境経営の推進」を掲げております。その一環として、同社が販売した紳士、婦人、子供、スポーツなど幅広い衣料品を百貨店の店頭で引き取り、可能な限りリユース、リサイクルすることを通じて、衣料品の循環システム構築をめざす「オンワード・グリーン・キャンペーン」を今秋から全国有名百貨店10店舗で実施いたしました。

今回のキャンペーンでは多くの方々からご賛同をいただき、10万点を超える衣料品を回収することができました。回収した衣料品からリサイクル糸（再生繊維）を作り、この糸を使用した毛布や軍手などを生産し市場に戻すことで資源の有効活用を行ってまいります。

さらに、社会貢献活動として、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の協力のもと、再製品化した毛布を世界の難民支援のために寄贈してまいります。今回は、2010年春に、バンラデシュ南東部にあるチッタゴン地域のコックスバザール地区難民キャンプと、当地区の人々の医療を支えている病院に毛布3,000枚を贈る予定となっております。



ONWARD

「枚の毛布があれば、寒さから身を守る…」

オンワード・グリーン・キャンペーンでは、ご不用になった衣料を回収し、毛布などを作る「衣料品循環システム」の構築をめざしています。再生された毛布は、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の協力のもと、世界の難民支援のために寄贈される予定です。

オンワード・グリーン・キャンペーン
 (衣料アイテム型集約キャンペーン)
 フローセットに置いているオンワード樫山の衣料品も、下記の百貨店にお持ち下さい。
 1店につき1枚、お持ちいただいた百貨店内のオンワード樫山商品のご購入にご利用いただけるクーポン券
オンワードグリーンチケット1,050円分とお引き換えいたします。
 詳しくはWebをご覧ください。
www.onward.co.jp/green_campaign/

Onward Green Campaign

「オンワード・グリーン・キャンペーン」

連結財務諸表

連結貸借対照表

(百万円)

	前期末 2009年2月28日現在	当第2四半期末 2009年8月31日現在
資産の部		
流動資産	98,945	92,524
現金及び預金	23,415	26,722
受取手形及び売掛金	26,420	23,280
商品及び製品	29,359	27,357
仕掛品	1,410	1,310
原材料及び貯蔵品	2,988	3,328
その他	15,514	11,037
貸倒引当金	△162	△513
固定資産	197,336	193,840
有形固定資産	90,174	90,584
建物及び構築物（純額）	29,113	29,000
土地	53,041	53,145
その他（純額）	8,019	8,439
無形固定資産	50,374	48,778
のれん	47,475	45,786
その他	2,899	2,992
投資その他の資産	56,788	54,477
投資有価証券	33,824	33,417
その他	25,686	23,790
貸倒引当金	△2,723	△2,730
資産合計	296,282	286,364

(百万円)

	前期末 2009年2月28日現在	当第2四半期末 2009年8月31日現在
負債の部		
流動負債	92,368	81,215
支払手形及び買掛金	39,620	32,240
短期借入金	31,647	34,993
未払法人税等	2,261	1,026
賞与引当金	2,187	1,791
役員賞与引当金	133	124
返品調整引当金	637	474
その他	15,880	10,565
固定負債	45,496	44,105
長期借入金	26,746	25,065
退職給付引当金	2,933	3,113
役員退職慰労引当金	56	62
その他	15,760	15,864
負債合計	137,864	125,321
純資産の部		
株主資本	178,023	174,292
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,043	50,043
利益剰余金	121,412	117,671
自己株式	△23,512	△23,502
評価・換算差額等	△21,156	△14,840
その他有価証券評価差額金	△6,929	△1,745
繰延ヘッジ損益	△75	1
土地再評価差額金	△11,074	△11,074
為替換算調整勘定	△3,076	△2,021
新株予約権	293	345
少数株主持分	1,258	1,246
純資産合計	158,418	161,043
負債及び純資産合計	296,282	286,364

連結損益計算書

(百万円)

	前中間 会計期間 2008年3月 1日から 2008年8月31日まで	当第2四半期 累計期間 2009年3月 1日から 2009年8月31日まで
売上高	132,469	121,821
売上原価	72,553	66,569
売上総利益	59,916	55,252
販売費及び一般管理費	53,925	54,988
営業利益	5,990	263
営業外収益	2,546	2,428
営業外費用	1,711	1,386
経常利益	6,825	1,305
特別利益	1,157	2,066
特別損失	3,947	446
税金等調整前四半期純利益	4,035	2,925
法人税等	1,359	1,992
少数株主利益	178	△27
四半期純利益	2,497	960

「四半期連結財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

会社の概要 (2009年8月31日現在)

社名	株式会社 オンワードホールディングス ONWARD HOLDINGS CO., LTD.
設立	昭和22年9月4日
資本金	300億79百万円
事業内容	純粋持株会社としてのアパレル、サービス、リゾート関連事業を営む傘下関係会社の経営管理およびそれに附帯する業務
従業員数	36名
所在地	東京都中央区日本橋3丁目10番5号
主要関係会社	株式会社オンワード樫山 オンワード商事株式会社 チャコット株式会社 株式会社クリエイティブヨーコ パスストップ株式会社 アクロストランスポート株式会社 株式会社オンワードクリエイティブセンター 株式会社ブックレット 株式会社オンワードライフデザインネットワーク 株式会社オーアンドケー ジョゼフLTD. シボ・コーS.P.A. シルサンダーイタリアS.P.A. フリードオブロンドンLTD. オンワードピーチリゾートグアムINC. J. プレス INC. 恩瓦徳時尚貿易 (中国) 有限公司

取締役および監査役 (2009年8月31日現在)

代表取締役会長	廣内 武
代表取締役社長	水野健太郎
代表取締役副社長	馬場和哉
常務取締役	吉沢正明
常務取締役	田中 実
取締役	本庄八郎
取締役	中村嘉秀
常勤監査役	山本昭登
常勤監査役	松本秀雄
監査役	小川恵一
監査役	矢部丈太郎

- (注) 1. 取締役 本庄八郎、中村嘉秀の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
2. 監査役 小川恵一、矢部丈太郎の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

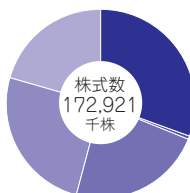
株式の状況 (2009年8月31日現在)

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	172,921,669株
株主数	10,270名

(注)発行済株式の総数には、自己株式16,266千株が含まれております。

所有者別株式分布状況

金融機関	52,995千株	30.6%	
証券会社	985	0.6	
その他の法人	39,933	23.1	
外国法人等	43,602	25.2	
個人・その他	35,406	20.5	



(注)個人・その他には、自己株式が含まれております。

大株主 (上位10社)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
財団法人櫻山奨学財団	8,710千株	5.5%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,610	4.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	7,540	4.8
日本生命保険相互会社	6,227	3.9
リーマンブラザーズインターナショナル(ヨーロッパ)	5,903	3.7
株式会社伊勢丹	5,001	3.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,594	2.9
第一生命保険相互会社	4,200	2.6
株式会社丸井グループ	3,417	2.1
株式会社三井住友銀行	2,931	1.8

(注) 1. 当社は自己株式16,266千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 出資比率は、自己株式16,266千株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	上場証券取引所	東京・大阪・名古屋証券取引所 市場第1部
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日	公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
定時株主総会	毎年5月中	公告掲載URL	http://www.onward-hd.co.jp/
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)		



当冊子についてのお問い合わせ先

株式会社 オンワードホールディングス

〒103-8239 東京都中央区日本橋3-10-5

TEL.03-3272-2312



この報告書は適切に管理された森林から産出された「森林認証材(FSC)」を使用し、環境に配慮した「大豆油インキ」を使用しています。